

12月は、新たな年のスタートに向けてこれまでの振り返りをする月です。よりよい学級づくりのための新たな視点を得るために、他のクラスの学級づくりに学ぶ姿勢を大切にしたいものです。また、12月には懇談会があります。保護者が来校して直接話ができる懇談会は、子どもの成長を語り合い、今後の指導の方向を確認し合う貴重な機会です。子どものエピソードで語る準備をして保護者を迎えましょう。



### <小学校>

#### 子どもが伸びる保護者懇談会

短い懇談時間の中で、3学期の成長につながる充実した懇談になるようにしましょう。

#### ○子どもの良さは具体的に伝えましょう

その子の良いところを語れるよう、具体的なエピソードを用意して臨みましょう。(授業、当番や係、清掃、児童会活動、友達との関わり等)

#### ○保護者の話をよく聴き、受け止めましょう

保護者の思いや心配事も語れるように双方向の懇談を心がけましょう。悩みについては保護者と共に考え、今後の指導の方向を共有できるようにしましょう。



※ 懇談で伝える内容や気になる子への対応については、あらかじめ学年会で相談し共有しておきましょう。

※ 一人ひとりの作品を大切に、温かみのある掲示を心がけましょう。

#### インフルエンザ感染の特徴を知って クラスでインフルエンザ対策

今年度は、インフルエンザが例年より早めに流行し始めています。まずA型が流行し、春先にB型が流行することが多いので、短期間に2回感染する場合があります。また、1つの学級が学級閉鎖になると、その後3週間以内に学校内の流行がピークになり、終息まで3～4週間はかかります。

#### 予防のポイント

- 1 流水、石けんによる手洗い、加湿、換気をしよう。
- 2 睡眠・栄養・運動で抵抗力を高めよう。
- 3 人ごみへの外出を控えよう。
- 4 人に向かって咳やくしゃみをしないようにしましょう。
- 5 咳が出る人はマスクをしよう。

[ 当番や保健委員の活動例 ]

- ・うがい・手洗いやマスク着用の呼びかけ、掲示物の作成・掲示
- ・休み時間ごとの換気、窓の開閉

担任は、当番や保健委員の活動をサポートしながら、予防の取組への意識を高めましょう。



### <中学校>

#### 他クラスから学ぶ学級づくりの工夫

中学校では、学年で目標を決めて行動することが多くあります。そのため、生活を向上するための〇〇旬間などで、達成率を数字で表し、他クラスと比べ意識を高めようとすることもあります。

しかし、担当の係や日直当番が互いのクラスの授業前や朝読書、給食、清掃などの生活の様子を観察して、頑張っているところを伝え合うことも大切です。他クラスとよさを認め合って、互いの学級をよりよくしていきましょう。



○組は、みんなで声をかけ合って、時間を守ろうとしている。

□組の様子を写真で紹介し、僕たちががんばりましょう。



#### 生徒の心に響く褒め方・叱り方

生徒は、褒めること、叱ることで伸びます。

#### 【褒め方のポイント】

- 目立たないことを褒めてこそ褒め上手。生徒の姿を日頃からよく見ていることが大切です。
- 褒める主体は先生自身。「先生は、ここがいいと思うよ」というスタンスで褒めましょう。その子のよさが周りの生徒にも伝わります。

#### 【叱り方のポイント】

- まずは、本人の心の内にしっかりと耳を傾けましょう。
- ポイントを絞って叱りましょう。本人にとって分かる叱り方が大切なのです。
- 生徒は、教師の言葉一つに敏感に反応します。行為はとがめても人格を傷つけてはいけません。
- 反省が深まっている様子が見られたら、その姿を認める声がけをしましょう。



褒めること、叱ることは、どちらも生徒を伸ばす上での大切な指導の場になるのです。